

## 繊維事業部

## 私たちのSDGs 2023展に参加

繊維事業部は、8月29日から9月4日まで、なんとマルイのイベントスペースで開催された「私たちのSDGs 2023展」に参加しました。

このイベントは、繊維に関わる関西の大学生、研究者、教育者の有志が立ち上げた日本繊維機械学会繊維リサイクル技術研究会の皆さんと繊維に携わる企業が協力して毎年開催しています。

今回、クラブハウは、展示とトークショーで、アップサイクルシステム「ループプラス（Loop Plus）」を紹介しました。

## 展示コーナー

展示では、安城工場の協力のもと、「ループプラス」で裁断片を再資源化し、糸にするまでの工程別の見本や、その糸を使ってできたTシャツや靴下を、説明パネルとともに配置しました。また、今回は展示方法についても普段とは異なる工夫をしました。普段は業界の展示会などの同業種の方やアパレルの方向けの展示ですが、今回は一般の消費者に向けた展示だったので、



▲ループプラス糸の工程と製品サンプルの展示

「よりわかりやすく」「親しみを持ってもらえるように」心がけ、レイアウトや説明POPを準備しました。

他の出展社も繊維の再資源化やリサイクル素材の使用について紹介されており、その中で当社の取り組みが消費者の方々にどう映るか、不安と楽しみが半々でした。

運営からは、当社ブースの展示品を手取る方が多く見られ、好評であったとのことでした。

## トークショー

9月1日のトークショーでは、展示参加企業から展示内容と連動したテーマで講演が行われました。

クラブハウからは山内技術部長が、繊維リサイクルの現状と課題、「ループプラス」開発の経緯、生産の工程について、動画とスライドを使ってわかりやすく説明しました。

また、いろいろな共創パートナーである企業や自治体などの取り組みを具体的に説明し、ループプラスの広がりを紹介しました。

トークショーは立ち見も出る盛況ぶりであり、積極的に質問も出るなど、お客さまの関心も高い催しとなりました。

一般消費者の方の反応を直接感じる機会はありませんでしたが、新鮮でした。今後も、このような一般消費者の方にクラブハウの活動を紹介する機会を大切にしていきたいです。

（繊維企画課

井上 知永子 記）



▲講演する山内技術部長



▲講演会ブースからはみ出しそうな聴衆